

《冬期間の労働災害防止》

- 走るな！、転ぶぞ！、屋外作業、凍結路面は目に見えないぞ！
- 寒い外、心も体も、冷えている、あせると危ない、冬の外仕事
- 作業中、足を滑らせ、『転倒』に注意しましょう

- 作業する時、トラック(荷台も)に乗る時、降りる時は安全靴の底の雪を落とす
- トラック(荷台も)から降りる時は、路面の状況を確認し、飛び降りることは厳禁
- ポケットに手をつっ込んで歩かない
- 積雪時の構内、現場内は細心の注意を払い、常に足元の確認

《挟まれ・墜落・転落・下敷き 注意》

冬のスリップ事故に注意

スピードを落とし、普段の2倍以上の車間距離

急ブレーキ・急ハンドル・急発進 「急」のつく操作は、スリップの原因

日没前後の「薄暮時間帯」は注意！ 歩行者を見落とさないように気を付けましょう！

バックする時 「たぶんいないだろう・・・」は、ダメ

信号待ち車への追突 漫然運転、わき見運転に注意しましょう

確認してから、ハンドル操作 すべての操作は、必ず確認してから行いましょう

事故防止のため 「早めの休憩を」
～2時間走行、15分休憩～

路線バスが信号待ちの軽乗用車に追突 路線バスの運転手から 「事故をしてしまった」と通報

- ◇信号待ち車への追突◇
- ◇漫然運転、わき見運転に注意しましょう◇
- ◇近づけば 危険も近づく 車間距離◇

2024/12/27(金)

27日午前9時20分ごろ、岡山県で路線バスの運転手から「バスと軽乗用車とで事故をしてしまった」と通報がありました。警察は路線バスが信号待ちしていた軽乗用車に追突した可能性があるとして調べています。

午後6時半 信号のない交差点 横断歩道を渡っていた男性 軽乗用車にはねられ、顔の骨を折る大ケガ

- ◇気のゆるみ 事故は一瞬 命はひとつ◇
- ◇「ぼーっと運転」、漫然運転は死亡事故リスクが高い！◇
- ◇ながら(スマホ)運転、ナビを見ながら運転、わき見運転、重大事故◇

2024/12/27(金)

26日午後6時30分ごろ、山形県の信号のない交差点で、横断歩道を歩いていた男性（29）が軽乗用車にはねられ、顔の骨を折る大けがをしました。軽乗用車を運転していた女性（68）にけがはありませんでした。

小樽 国道5号 路面凍結 乗用車3台が絡む事故 運転手の男女2人けが

- ◇凍結路面 スピードダウンと車間距離◇
- ◇凍結路面では、急ブレーキ、急ハンドルは禁物！◇
- ◇慌てず、焦らず走行しましょう◇

2024/12/27(金)

27日正午すぎ、小樽市の国道5号線で乗用車3台が絡む事故がありました。この事故で運転手の50代女性と別の車の運転手の70代男性がけがをして、病院に搬送されました。2人とも意識はあったということです。事故当時、路面は凍結していたということで、警察が事故の詳しい状況を調べています。